

知事と区市町村長との意見交換会(江東区)

令和2年10月20日(火)

15時30分～15時50分

○**行政部長** それでは早速ですが、意見交換を始めさせていただきます。はじめに知事からお願いをいたします。

○**知事** 今日のご足労お掛けいたしております。よろしくお願いいたします。

コロナはまだまだ続いているわけでありませけれども、ウィズコロナの時代の新しい日常をどうつくっていくのか、そしてまた、ただ元に戻るのではなくてサステナブル・リカバリー、持続可能な回復を目指しているところでございます。

長期戦略も描くということから、今日は区長から直接現場のお声等を聞かせていただいて、そしてこれからの新しい日常づくり、ともに進めていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

○**行政部長** それでは山崎区長からご発言をお願いいたします。

○**江東区長** 今日はこうした機会をつくっていただきまして、ありがとうございます。去年に引き続いて直接お話ができるということは、各区にとっても大変ありがたいことでございます。

今日はそれぞれの区ごとの要望ということでございますので、区長会とかなんとか、また改めて行くこととして、江東区に関わることについて特にお願いにありました。

まず何と言っても、今までは江東区の場合には区の重要課題とは地下鉄8号線と、それから中央防波堤の埋立地の帰属、この二つでしたが、一つはやっと片付きまして、決して満足いくものではなかったんですが、いつまでやってもきりが無いということで、もう腹くくりました。

今残っているのは地下鉄8号線、これだけでございまして、これも何とかしなきゃならんということで。

○**知事** 区から8号線担当も見えてますね。

○**江東区長** はい。よくご存知でありがとうございます。

○**知事** 書いてある。

○**江東区長** そう。国がやはり何と言っても東京の一極集中とか、東京の富裕論とか、そういったことで東京から税制改正等でどんどん稼ぎを召し上げてしまうと。東京が長男であれば他の46人の弟たちに、一生懸命働いて、長男が皆に、弟たちの面倒を、小遣いを分け与えてきたと。この東京を弱くしてしまつては日本全体がだめになると。

私がいつも言うんですけれども、東京こそ牽引者であつて、東京が頑張っているから日本が成り立っているんだということが、国会の方は9割が地方議員でしょ。地方出身ですから、どうしたつて弱くなつちゃう。それは日本にとって決してプラスじゃないわけです。

今も、例えば大阪都構想。これも大阪だって自前で生きてはいけないのに…まずいか、交付税の件から言ったら一丁前じゃないわけですよ。これを多分、あそこだったら、あの構想は通ると思うんですけども、いずれにしても大阪なんかは首都たり得ないわけですからね。東京と同じように頑張って稼いでくれるならいいけど、それは絶対に私は無理だと思う。

日本に首都が二つある必要は全くないわけですから、都は一つでいいと思っていますけれども、それぞれが頑張って稼いでくれりゃあいいんですが、なかなかそれは難しいだろうと。

また、菅政権が国際金融センター構想を打ち上げておまして、これに大阪だとか、神戸、あるいは福岡、こんなところが手を挙げて一生懸命やっていますよ。国際金融都市っていうのは東京が一生懸命やってここまできているわけで、これを分散してしまったらば、東京の力が弱まるばかりですから、そうした意味で我々も必死になってこの東京を守っていかなきゃならん。東京が先頭に立って稼いでいかなきゃならん。

そのためにはこの東京の力を、都市基盤をもっとしっかりさせていって、魅力ある都市であり続けなきゃならん。ですからコロナ禍といっても、コロナ後の日本も東京が絶えず先頭に立って、日本を引っ張っていかなきゃならん。

そのためには、一つには私は国の補助金を使えるものはどんどん使っていくべきだと。これを使わない手はないと。国に召し上げられる税を、我々は補助金等で国からどんどん東京に引っ張ってくる。

これは都市基盤もそうです。あるいは防災対策もそうです。いろんな意味で補助金を獲得していくことが、私が持っていた税を取り返すことになる。それが東京を日本の首都であったり、そして稼ぎ頭である。それを続けていかなきゃならんというふうに思っておりまして、そうした中でこの地下鉄、都市基盤、これをどう考えておられるか。

特に去年のこの会では、知事自身が先頭に立って全力を挙げて頑張っていくというお話を伺って、大変心強く思ったわけですが、今、勉強会を開いていますけれども、勉強会を開いているからいいわけではなくて、これと並行して、やはり計画を進めていかなきゃならんというふうに思うんですね。

ぜひこの勉強会が進んでいるからいいんだということではなくて、ぜひこの勉強会と並行して、地下鉄8号線の件については前に進めていただきたいと。これは都だけで決まる問題じゃないですから、難しさは重々私どもも知っていますけれども、より一層東京都が腹をくくって、何本もある計画の中でも、一つでも手を付けて進めていただきたいというふうに思っておりまして、この点について知事のお考えを賜りたいと思います。

○行政部長 もしお考えがありましたら続けてご発言ください。続けて、はい。

○江東区長 次はGIGAスクールの件でございますけれども、初期投資については補助金をいただけるんですけども、ランニングコストが大変掛かると。特にうちの区なんかも子供さんの数が多いものですから、一人1台ずつタブレットを渡してということになると、今の段階では何とかやりましたけれども、初期導入は終わったんですけども、これから

それをやっていくには大変なお金が掛かる。ランニングコストが掛かる。この点の補助をぜひお願いしたいということ。

それからもう一つ付け加えれば季節性のインフルエンザ。子供に対してうちの区としては何とか無料で打ってあげたいなど。高齢者の方は無料ということで、ご協力いただいておりますが、特に小学2年生までの小さなお子さんに早い段階から、2回打たなきゃならぬので。これについての補助金もできればお願いしたい。以上でございます。

○行政部長 どうもありがとうございました。それでは知事からお願いをいたします。

○知事 まず地下鉄8号線でございます。進捗状況については区長がよくご存知だと思いますが、都としてのスタンスは東西線の混雑緩和、そしてまた臨海地域の今後の発展に寄与するという考え方であり、また、重要な路線であるということについては、何も変わってはおりません。そしてまた勉強会が進んでいるということでもあります。

そして東京メトロによる整備・運行が合理的であるという考えをまとめて、国にもその旨を主張いたしております。そして国、メトロと調整を進めているところであります。

今も区の強い思いもお伝えいただきました。地下鉄8号線の延伸ということについては、かねてより知事として全力で取り組んでいくということをお伝えいたしておりますので、それらのことを国とメトロとの調整ということで、現場の方も頑張っておりますので、それらについてもこれからも引き続き全力で取り組んでいく考えであります。

それからGIGAスクールですけれども、こちらランニングコストについては国の方に十分な財政支援をお願いするというところで、要望もしておるところであります。

それから来年度からは1人1台の端末ということで、その意味でもランニングコストの問題も引き続きの課題であるかと思いますが、何としてでも今回のコロナ禍で、デジタルトランスフォーメーションが非常に遅れていると。そしてまた教育の部分でそれが進まないがために、諸外国ではオンラインで授業を続けているのにというので、その辺のところも明確になったわけでありまして。この点についてはより世界から周回遅れにならないように、またICTを通じて子供達の教育を対面の教育だけでなく、どちらも進められるような形にしていきたいと思っております。

これから東京はハイブリッド都市として、リアルとオンラインと両方が使いこなせるということを強みにしていくという、それらの方針で、宮坂副知事にもいろいろ頑張ってもらっていて、また、それぞれの区がインターネットのITの技術者を確保するというのは大変だと思いますので、そこは連携させていただいて、有効な方法でこのICT、行政の手続もそうありますけれども、進めていきたいと考えていますので、これはまた別途お声掛けをしながら勉強して、また、これからの予算編成もあるでしょうから、そういった時にアドバイスができること、また連携できることをお伝えしたいと思っております。

○副知事 インフルエンザの予防接種についてでございますけれども、コロナ禍において、予防接種が重要であることは論を待たないところであると思っております。

都は新型コロナウイルス感染症に感染した場合に、重症化リスクの高い高齢者等がインフルエンザの定期予防接種を受ける際に負担する実費を軽減するというところで、区市町村

を通じて支援をさせていただいているところでございます。

費用負担の問題につきましては、国の方では今の時点では医療従事者であるとか、基礎疾患のある方、妊婦、子供さん等が接種を希望する際に、その機会を逸することのないよう、接種の時期について呼び掛けを行っているところでございまして、お話のとおり、子供さんの接種ということは非常に重要でございますので、引き続き国の動向も把握してまいりたいと思っております。

○行政部長 それでは今のお話を受けまして、山崎区長からいかがでございましょうか。

○江東区長 8号線の件は東京である様々な計画の中で幾つもあるわけですから、非常に難しいとは思いますが、かつて現在の有楽町線が延伸する時に、営団地下鉄が約束を反故にしたんですよ。新木場に車庫をつくと。その代わりに北上線、この8号線をやりますよということだったんですが、結局新線つくらないなんて、民営化の時に謳ってしましましてね。その時の約束を反故にされてしまったと。

その他にもご存知のとおり、豊洲の移転という問題からも8号線についてはご理解いただいているはずでありますので、そういった意味で他の路線との競合というのものもあるかもしれませんが、ぜひひとつ東部地域のみならず、臨海部の国際都市ということも含めて、考えていただきたいと。

その動きがどうもなかなか見えてこない。勉強会は分かりましたけれども、これも村山さんに言われて、都が言っているのに国が動かないということを知り、和泉補佐官の所へ、官邸へ私一人で言って談判にきて、すぐ動き出したということもありまして、そうした意味ではやはりよほどこの動きを活発化していかないと、国の方はなかなか難しい問題ですから、株の問題もありますしね。

そういった点では、ぜひ知事も英断というか、知事ご自身の気持ち、それがどこにあるのかと。いろいろご苦労あると思いますけれども、トップの決断が私は最終的に一番だろうというふうに思っていますので、知事のそうした強いお気持ちをぜひ表してほしいというふうに思っています。

○行政部長 どうもありがとうございました。それでは最後に知事からお願いをいたします。

○知事 今回は区長会会長ではなく、江東区長としてお越しいただき、地元のご要望等を伺わせていただきました。

8号線については、6路線の中でより具体的に動いているところであり、また、湾岸地域をどうするのか、また一方で、多摩モノ（レール）もあります、多摩地域をどうするのか、まさに長期戦略の中でも重要な路線であるということから、これからも全力で国との調整も、村山さんも頑張ってくださいますが、進めていくということには変わっておりませんので、よろしく願いいたします。

またこれからも様々、区との連携の中で、区長会としてお世話になるかと思っております。よろしく願いいたします。ありがとうございました。

○江東区長 どうもありがとうございました。

○行政部長 それでは以上で終了いたします。本日はどうもありがとうございました。